

「生きる力」をはぐくむ評価のあり方

I 研究の内容

1 研究の方向性

2009年度は、国語科において単元を通して1枚ポートフォリオを用い、読み取りの深まりや気持ちの変化を見取っていった。2010年度は、道徳の授業を通じて研究を行い、学習前・学習後において、児童の道徳的価値の高まりや心の変化を見取ることができた。2011年度は1枚ポートフォリオの作成・活用の仕方をさらに研究史ながら、生活科や社会科の授業を通じて検証を行い、表現する力が伸びたり、理解が深まったりすることを見取ることができた。そして、2012年度は、さらに教科を広げて算数科・理科で研究を進めた。1枚ポートフォリオから児童の実態をつかみ、児童の学習意欲向上をめざして取り組んできたが、1枚ポートフォリオを振り返ったり、児童相互に交流したりすることで、自己肯定感が高められ、学習意欲向上にも効果が出てくることが確認できた。そして、昨年度は1枚ポートフォリオ評価法に焦点を当てた5年目として、国語科と道徳で授業を行った。1枚ポートフォリオを活用することで、子どもの学びの足跡を子ども自身が振り返ることができ、それが意欲の向上や自己の成長の実感につながった。また、子どもが学習の最初と最後でどう変わったかの変容や、子どもの考え方やとらえ方を見取って評価に生かすことなどができ、さらに研究が深まった。一方、昨年度出された「評価する際の指標となる言葉」や「PDCAのサイクルに1枚ポートフォリオがどう関わっているか」については、もう少し研究していく必要があるのではないかとということも課題として出されている。

そこで本年度は、これまでの研究の成果を生かしながら、これらの点についても研究を深めていき、よりよい1枚ポートフォリオでの評価を目指したい。

2 研究授業

生活科 第2学年 「おひさま もりもり まるかじり」
算数科 第4学年 「小数のかけ算とわり算を考えよう」

II 成果と課題

1 成果

- ・1枚ポートフォリオの研究としてはほぼ完成された形ができあがった。後は様々な教科、単元等に合わせて応用し実践事例を積みあげていきたい。
- ・教科に対応した1枚ポートフォリオについて実際の子どもの活用状況を常にふり返り、その有用性を考察することができた。
- ・1枚ポートフォリオの様々な形式についてより深めていくことができた。
- ・教科や領域を変えることで様々な1枚ポートフォリオの研究ができた。
- ・1枚ポートフォリオで何を見るのか、何のためにするのか等、明確にして取り組めたと
思う。

- ・従来の1枚ポートフォリオの形式にこだわらず、授業者の意図にそって柔軟に変化させることで教師も見取りやすく子どももふり返りやすいものができた。
- ・1枚ポートフォリオによる評価への活用を研究してきた積み重ねの深さを感じた。
- ・評価や子ども理解に生かすだけでなく、1枚ポートフォリオを読み直した時の子ども達の自己肯定感を高めることにつなげることもできると分かった。

2 課題

- ・研究テーマをより充実させていくための評価の仕方、あり方について1枚ポートフォリオやその他様々な方法も研究を進めていく、しなやかでゆるやかな研究もやってみたい。
- ・ノートポートフォリオは、ポートフォリオ評価の新しい方向性を探る大きな一歩だと思う。長所、短所はいろいろあるが、更に改善しながら可能性を開発したい。
- ・子ども達の変容を評価するのがこの部会の研究内容だが、評価はその後にどのようにつなげるのが大切である。そこまでつなげて研究する必要があるかもしれない。
- ・6年間の1枚ポートフォリオの評価の研究により、今年度で一つの区切りとし、また新しい評価法の研究をしてはどうか。
- ・1枚ポートフォリオを今後どのように発展、工夫していくのか限界がきているのではないかな。

III 成果物

・どのくらいやさいげと自覚したか。

・どうやって食べましたか。

・しゅうかくして、思ったことを書きましょう。

しゅうかくしたよ

・どのくらいやさいげと自覚したか。

・どうやって食べましたか。

・しゅうかくして、思ったことを書きましょう。

やさいをそだてたかんそう

おうちのひとから **かんぱった** **さんへ**

より

2年生生活科

初め くり かんぱい



小学校 2年

名前

ほかに多く(うま味) やさいは?

そだてるやさいはどれにきまり? (きめわかれ)

たくさんそだせて、どうしようかな?

何をそだてようかな

ほかに多く(うま味) やさいは?

そだてるやさいはどれにきまり? (きめわかれ)

たくさんそだせて、どうしようかな?

**たねをまこう
なえをうえよう**

・どんなせむをししましたか、こぼったことがありましたか。

・かんぱつをつづけて気づいたことや思ったことを書きましょう。

**せむをつづけてよう
かんぱつをつづけてよう**

・どんなせむをししましたか、こぼったことがありましたか。

・かんぱつをつづけて気づいたことや思ったことを書きましょう。

(部長 矢崎 三枝子)